

### Ⅲ 成果と課題

- (1) 意識調査結果及び成果と課題 ..... 54
  
- (2) 学校部活動の地域連携・地域移行の推進に向けて ..... 57

令和6年度 群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業 意識調査結果  
 ー休日の部活動の段階的な地域スポーツクラブ活動への移行に関する実証事業ー

調査対象：実証事業を行った8市町村の地域スポーツクラブ及び学校部活動

**I 顧問 (回答：33人)**

(1)「地域スポーツクラブ活動」において、地域の指導者が指導することで、学校部活動の負担感は減りましたか。

とても減った	6人
減った	19人
あまり減っていない	5人
減っていない	3人

多くの顧問が学校部活動の負担感が減少したと回答しているが、運営体制の課題も指摘されている。

<意識調査からの成果と課題>

- 【成果】** □ 土日出勤して指導する機会が減り、完全に休める日が増え、負担が減った。  
 □ 休日にゆとりができ、時間の余裕が持てるようになった。月に1, 2回でもありがたい。  
 □ 指導面を指導していただけるので、未経験の先生は安心であり、普段の練習も充実してきた。
- 【課題】** ■ 練習試合やイベント等の際は、顧問が引率したり、参加したりするので、負担はあまり減っていない。  
 ■ 団体競技は、全体で練習する日を設定しなくてはいけないので、負担感は減っていない。

**II 地域指導者 (回答：62人)**

(1)「地域スポーツクラブ活動」で指導することについて、気持ちを教えてください。

とてもやりがいがある	30人
やりがいがある	24人
あまりやりがいはない	8人
やりがいがない	0人

多くの指導者が「やりがいがある」と回答しているが、一部の指導者は大変さを感じている。

(2) 今後も「地域スポーツクラブ活動」で、指導したいですか。※2名無回答

ぜひ指導したい	27人
どちらかという指導したい	23人
あまり指導したくない	9人
指導したくない	1人

多くの指導者が、「指導したい」と回答しているが、指導者の都合等もあり指導が難しいこともある。

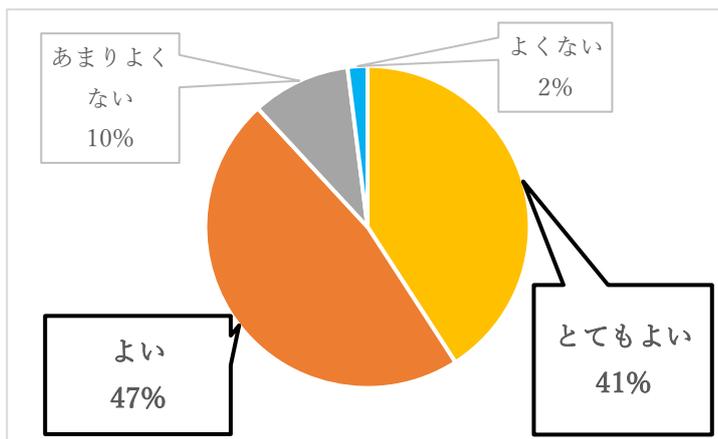
<意識調査からの成果と課題>

- 【成果】** □ 活動を通して、子どもの成長する姿や笑顔を見るのが楽しい。子どもの活動を応援したい。  
 □ 指導者同士のつながりが広がり、指導者同士で学び合えることができた。  
 □ 自分の経験が生かせ、社会貢献や自己啓発につながっている。
- 【課題】** ■ クラブ活動の指導に携わりたいが、仕事の時間が課題であり、仕事と指導の両立が難しい。  
 ■ 周りが他人事なのが現状で、保護者の理解や学校の理解が必要であると感じる。  
 ■ 問題が起きたときの対処方法が分からない。  
 ■ 練習場所の確保や指導者の確保等、クラブ活動と学校の連携が必要だと感じている。

### Ⅲ 生徒（回答：203人）

(1)「地域スポーツクラブ活動」で地域の指導者が指導することについて気持ちを教えてください。

とてもよい	83人
よい	96人
あまりよくない	20人
よくない	4人

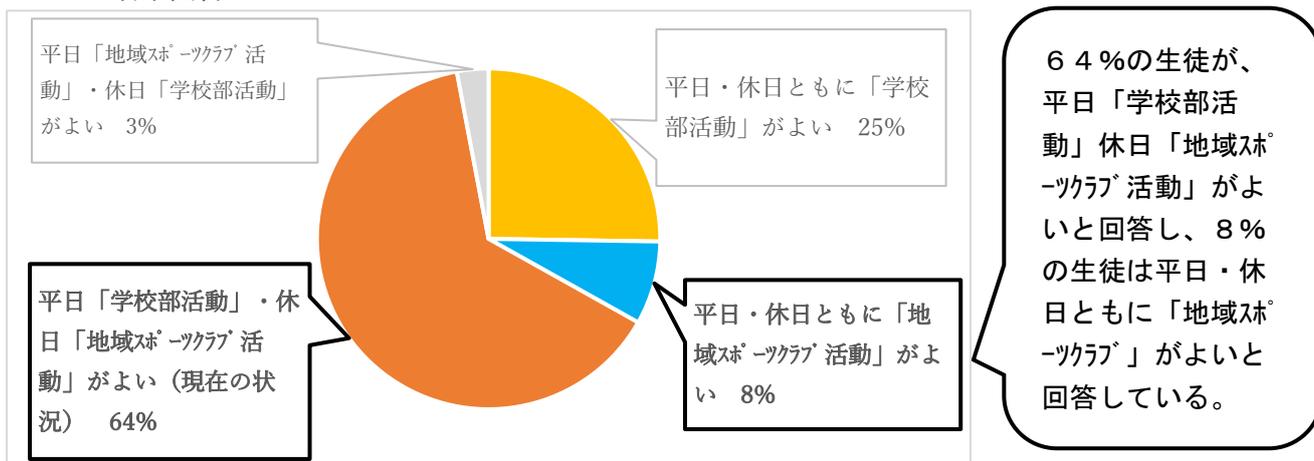


88%の生徒が、よいと回答し、昨年度とほぼ同程度である。一定数、不安を感じている生徒もいる。

(2) 今後の「学校部活動」と「地域スポーツクラブ活動」の実施について気持ちを教えてください。

平日・休日ともに「学校部活動」がよい	51人
平日・休日ともに「地域スポーツクラブ活動」がよい	16人
平日「学校部活動」・休日「地域スポーツクラブ活動」がよい（現在の状況）	129人
平日「地域スポーツクラブ活動」・休日「学校部活動」がよい	6人

※1名未回答



64%の生徒が、平日「学校部活動」休日「地域スポーツクラブ活動」がよいと回答し、8%の生徒は平日・休日ともに「地域スポーツクラブ」がよいと回答している。

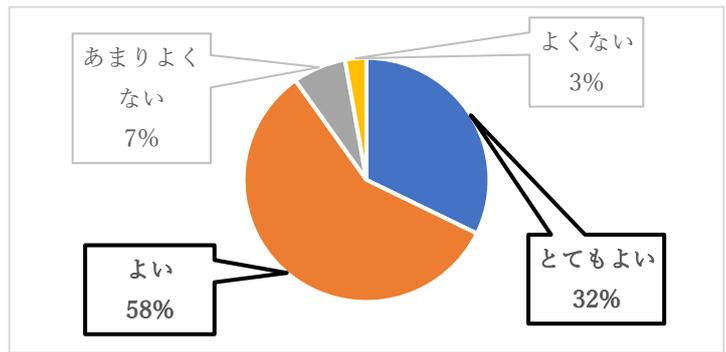
#### <意識調査からの成果と課題>

- 【成果】**
- 地域指導者から専門的な指導や助言が受けられ、技能が向上する。（多数の生徒が回答）
  - 地域の指導者や他校の中学生と活動でき、交流が楽しい。（多数の生徒が回答）
  - 様々な練習メニューを知ることができ、課題が解決できる。
  - 顧問の先生の負担が減っている。顧問ではない地域指導者だからこそ関わりやすい面がある。
  - より高いレベルの練習ができるのがよい。
  - 指導者に質問ができ、分かりやすいアドバイスをもらえている。
- 【課題】**
- 送迎が難しい家庭や、家庭の事情で参加できないことが生じるのではないかな。
  - 顧問と地域指導者の指導内容が異なった場合、どう対応したらよいのか不安である。
  - クラブの練習時間が増えると、勉強や部活動との両立ができるか不安である。
  - 指導者の言葉遣いが厳しい。指導者やクラブの雰囲気に馴染めない。
  - 練習場所の問題やクラブでの大会参加の問題など、様々な課題がある。

#### IV 保護者 (回答: 214人)

(1) 「地域スポーツクラブ活動」で、地域指導者が指導することについて気持ちを教えてください。

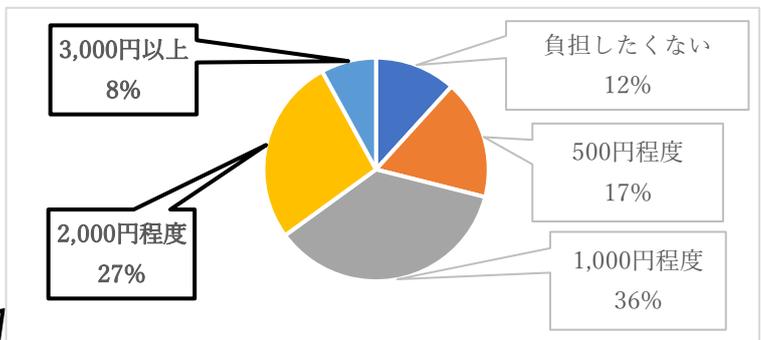
とてもよい	69人
よい	124人
あまりよくない	15人
よくない	6人



90%の保護者が、「よい」と回答していて、昨年度と同程度である。

(2) 費用（指導者謝金や会場使用料、生徒・指導者傷害保険等）の負担について、月あたり、いくらまでなら負担してもよいと感じますか。

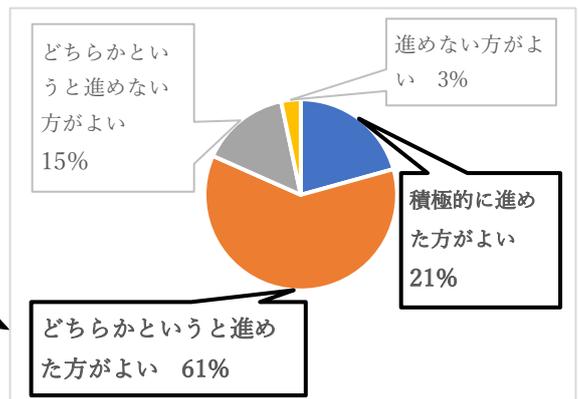
負担したくない	25人
500円程度	37人
1,000円程度	77人
2,000円程度	58人
3,000円以上	17人



35%の保護者が、「3,000円以上」「2,000円程度」と回答しており、昨年度から約10ポイント高くなっていることから、受益者負担の意識が高まってきている。

(3) 今後「地域スポーツクラブ活動」が進むことについて、気持ちを教えてください。

積極的に進めた方がよい	44人
どちらかというに進めた方がよい	130人
どちらかというに進めない方がよい	32人
進めない方がよい	7人



※1名未回答

82%の保護者が、「進めた方がよい」と回答している。一定数の保護者は、課題も感じている。

#### <意識調査からの成果と課題>

- 【成果】**
- 専門的な知識や経験のある方に指導してもらえ、質の高い指導・練習が受けられる。
  - 顧問の負担を減らせるとともに、地域との結びつきができ、様々な体験ができるようになる。
  - 子どもの選択肢が広がるのがよい。楽しそうに活動する姿が見られてうれしい。
- 【課題】**
- 保護者の負担増や指導者の資質、安全対策や緊急時の対応等心配がある。
  - 学校や地域によって差が出てしまうので、一斉に実施してほしい。
  - 実証事業以外の競技も実施してほしい。初心者でも参加しやすいようなクラブにしてほしい。

## 学校部活動の地域連携及び地域移行の推進に向けて

群馬県教育委員会  
群馬県地域創生部

### ☑ 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業の実施及び報告について

○今年度、県教育委員会では「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」を、前橋市、伊勢崎市、沼田市、館林市、渋川市・榛東村・吉岡町・玉村町の8市町村で実施した。

前橋市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「はなまるヤングクラブ（バレーボール：スポーツ少年団）」</li> <li>◆「まえばしスポーツクラブ（公益財団法人前橋市まちづくり公社）」</li> <li>・サッカー、バスケットボール、陸上競技、スケートボード、スポーツライミング、トランポリン、水球、テニス、柔道、バドミントン</li> </ul>
伊勢崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「境軟式野球クラブ」 ◆「境サッカークラブ」 ◆「境バスケットボールクラブ」</li> <li>◆「中部サッカークラブ」 ◆「北部ソフトボールクラブ」 ◆「南部柔道クラブ」</li> </ul>
沼田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「ぬまたクラブ（野球：総合型地域スポーツクラブ）」</li> <li>◆「うすねニュースポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）」</li> <li>◆「うすねニュースポーツクラブ総合探究クラブ（総合型地域スポーツクラブ）」</li> <li>◆「白沢少年少女剣道教室（地域スポーツクラブ・スポーツ少年団）」</li> <li>◆「利根沼田卓球協会（地域スポーツクラブ）」</li> </ul>
館林市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「館林市地域クラブ活動（館林市教育委員会）」</li> <li>・バレーボール男女、体操競技、卓球、ソフトボール</li> </ul>
渋川市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「渋川スケートクラブ（渋川市スポーツ協会）」</li> <li>◆「渋川市体操協会」</li> <li>◆「SYC（地域軟式野球クラブ）」</li> <li>◆「VC渋川-ZERO（総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団）」</li> </ul>
榛東村	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「しんとうスポーツクラブ ペガッソVC（総合型地域スポーツクラブ）」</li> </ul>
吉岡町	<p>※吉岡町は少年団を核としてほぼ全ての部活動において休日の地域移行を進めており、主なクラブを紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「吉岡町柔道スポーツ少年団」</li> <li>◆「吉岡町バドミントンスポーツ少年団」</li> <li>◆「ヤマダHD」</li> </ul>
玉村町	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「玉村ソフトテニスクラブ（地域クラブチーム）」</li> <li>◆「少年野球チームメビウス（スポーツ少年団）」</li> <li>◆「陸上クラブSA玉村（スポーツ少年団）」</li> </ul>

○今年度、県地域創生部では「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」を「MINAKAMI TOWN.EXE」で実施した。

○各市町村担当部局及び地域スポーツクラブがまとめた実施報告書には、実証事業の概要や連携の概要、事業を実施しての主な成果・主な課題が記載されている。特に、「事業を実施していく上でのポイント」や「地域スポーツクラブ活動への移行を進める上でのポイント」についての記載をご参考いただき、今後の地域スポーツクラブ活動の体制整備に生かしていただけたら幸いである。

## **☑ 実証事業のアンケート結果を踏まえて**

- 実証事業を実施した自治体及び地域スポーツクラブの指導者及び関係する学校部活動の顧問、生徒、保護者にアンケートを実施し、実態を明らかにし、成果と課題をまとめた。意識調査結果（P54～56）を参照していただきたい。
- 生徒の約9割が「地域スポーツクラブ活動」について肯定的に捉えており、専門的な指導や助言が受けられ、技能が向上し、競技の特性や楽しさを感じている。また、生徒は平日「学校部活動」休日「地域スポーツクラブ活動」がよいと回答している割合が約6割と一番多くなっており、これは平日学校後の移動や地域指導者の課題（仕事と指導の両立が難しい）を踏まえると、現時点においては現実的な対応であると考えられる。
- 地域指導者の多くが「地域スポーツクラブでの指導」を肯定的に捉えていただいているが、指導者自身が競技に取り組みたいクラブや指導体制・協体制が整っていないクラブにおいては、指導が難しいと感じている指導者もいる。また、顧問においては、指導面での精神的な負担は大きく軽減されているが、一部のクラブでは顧問が活動に参加している運営体制があり、時間的な負担があまり減っていない現状も見られた。顧問が関わる場合は、本人の意思でボランティアまたは兼職兼業で対応するようにし、原則地域指導者が適切に運営する体制を整えることが必要である。
- 保護者の約8割が「地域スポーツクラブ活動」について肯定的に捉えているが、体制整備が整っていないクラブに参加している生徒の一部保護者は、保護者の負担や指導者の資質等に不安を感じ、部活動の方がよいのではないかと感じている。費用負担においては「3,000円以上」「2,000円程度」の回答が昨年度から約10%増えていることから、受益者負担の考えが浸透してきている。

## **☑ 県としての実証事業の取組について**

- 今年度、県では「君たちの声が聴きたい ぐんま中高生のための部活動改革ワークショップ」を開催し、中高生から意見を聴く機会を設定した。また、県外の研修会や視察で得た情報を関係者に情報発信し、市町村訪問や研修会等で担当者が国や県の状況を説明したり、地域移行に関するシンポジウムやセミナーを開催したりと、関係者の理解を深めるための取組を行ってきた。来年度も、地域や保護者の方々をはじめ関係者の皆様の理解が深まるような取組を実施し、一人一人の当事者意識をさらに醸成していきたい。

## **☑ 本県における地域移行を推進するために**

- 今年度は、多くの市町村で、学校部活動の地域連携及び地域移行に前向きに取り組んでいただいております。推進する上での課題が少しずつ明確になってきている。県としては、市町村が一步、二歩前に進めるように、後押ししていきたい。先行事例や取組のポイントなどの情報を提供するとともに、コーディネーター等を活用してより市町村に寄り添った対応をしていきたい。
- 来年度は、改革推進期間の最終3年目であり、多くの自治体で部活動の地域連携や地域移行が本格的に動き出すことが想定される。県では、関係各課やコーディネーター、実証事業実施自治体担当者との連携体制も整え、県が市町村をサポートできる体制を充実させていきたい。